

## 「関東大震災映像デジタルアーカイブ」第4弾作品

### 『関東大震災実況』公開のお知らせ



左：『関東大震災実況』1923年 中橋広小路付近の倒潰家屋と日米信託ビル  
右：『関東大震災実況』1923年 被災した国技館と周辺の焼跡

このたび、WEB サイト「関東大震災映像デジタルアーカイブ」（制作：国立映画アーカイブ、国立情報学研究所）に、第4弾作品『関東大震災実況』を公開する運びとなりました。

『関東大震災実況』（20分 | 1923年 | サイレント | 染色）

【作品概要】映画会社・日活のカメラマンが向島の撮影所を飛び出し、地震発生当日から3、4日にかけての被災状況を収めたフッテージを含む一篇。当時「決死的」と喧伝された撮影による映像の速報性、記録性ととも、構図やフレームに対するカメラマンの意識もうかがわれる。

**公開日時：2月4日（金）16時**

「関東大震災映像デジタルアーカイブ」とは (<https://kantodaishinsai.filmarchives.jp/>)

★1923（大正12）年9月1日に発生した関東大震災について、当館が所蔵する関連の映画フィルムなどの資料を公開するWEBサイト。

★「撮影場所」、「シーン（写されている事象）」で分類された「クリップ」単位での検索・閲覧が可能で、作品のディテールをより深く、横断的に見るできるようになっています。

★関東大震災発生から100年にあたる2023年9月1日までに、2年をかけて、当館で所蔵する関東大震災関連の全ての映画フィルムの公開を目指しています。

つきましては、ぜひとも本サイトのご紹介をご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ】

国立映画アーカイブ「関東大震災映像デジタルアーカイブ」広報担当  
電話：03-3561-0823 / FAX：03-3561-0830 / E-mail：kanto1923@nfaj.go.jp

## 『関東大震災実況』クリップ一覧



場所：中央／シーン：避難

日本橋から江戸橋に向けたカメラが、川で立ち往生する船の様子を捉えている。河岸に連なる倉庫や土蔵が目を惹く。



場所：中央／シーン：倒潰・損壊

倒潰した建物の背後に焼損した日米信託ビルディングが見える。



場所：台東／シーン：倒潰・損壊

浅草・瓢箪池の南側から延焼前の凌雲閣（十二階）を望む。六区の落語常設館・万盛館の壁面が大きく映し出される。



場所：不明／シーン：火災、倒潰・損壊、避難

洋食店などの商店が並んでいる街頭の混乱する様子を、カメラが収めている。



場所：墨田／シーン：倒潰・損壊

火災による被害を受けた両国の国技館と周囲の焼跡が、別アングルのカットにより捉えられている。



場所：墨田／シーン：倒潰・損壊

甚大な被害を受けた駅構内の引き込み線に、機関車がポツと取り残されている。

【本件に関するお問い合わせ】

国立映画アーカイブ「関東大震災映像デジタルアーカイブ」広報担当  
電話：03-3561-0823／FAX：03-3561-0830／E-mail：kanto1923@nfaj.go.jp